

令和6年度 白川町総合計画審議会 会議録

1. 開催日時 令和7年3月6日(木) 午前10時00分 開会

2. 開催場所 白川町町民会館 大研修室

3. 出席委員

会 長	竹内 治彦君	副 会 長	藤井 宏之君
委 員	佐伯 好典君	委 員	榊間 博幸君
委 員	長尾 達美君	委 員	細江 辰男君
委 員	後藤 茂巳君	委 員	塩月 祥子君
委 員	山中 剛彦君	委 員	今井 清美君
委 員	小栗 敏弘君	委 員	安江 万美子君
委 員	福田 喜美子君	委 員	鈴村 逸策君

4. 欠席委員

委 員	加藤 邦之君	委 員	村上 欣子君
委 員	浅井 長可君		

5. 説明のために出席した者の職氏名

町 長	佐伯 正貴君	副 町 長	安江 章君
企画課長	渡口 彰規君		

6. 職務のために出席した者の職氏名

企画係長	鈴村 元秀	企画係主査	高木 大輔
------	-------	-------	-------

7. 会議の経過

(1) 開会

企 画 課 長 開会する旨を宣告した。(午前10時00分)

町 長 午前中のお忙しい時間にお集まりいただき、誠にありがとうございます。
また、竹内先生には遠方からお越しいただき感謝申し上げます。さて、現在の町の人口を確認したところ、10年前と比較して約2,000人減少しております。特にこの1年間で約250人の減少が見られ、減少傾向が加速している状況です。また、年代別に見ると、90代や100代の高齢者が増えてきております。10年前には100歳以上の方が10人でしたが、現在は22人となっており、倍増しております。さらに、90代以上の人口は全体の約6%にあたり、およそ430人となっています。こうした状況からも、町の超高齢化が進んでいることが分かります。このような中、町としてもさまざまな対策を講じております。例えば、学校の再編や消防団の定数削減を進め、限られた人員の中で持続可能な形を模索しております。また、今月1日には地域おこし協力隊の新メンバーが着任し、町外からの人材誘致にも取り組んでおります。今後の持続可能なまちづくり、そして人口維持について、皆さんから貴重なご意見をいただければと思います。

会 長 おはようございます。岐阜協立大学の竹内でございます。本日は特にご挨拶を用意しておりませんでしたが、町長のお話を伺いながら、私なりに感じたことをお話しさせていただきます。高齢者の増加という話題は、どうしてもネガティブな印象を持たれがちですが、実はこれは素晴らしいことではないでしょうか。100歳以上の方が増えているというのは、まさに長寿社会の証ですし、町の誇りとも言えることだと思います。もちろん、財政や社会保障の面で課題はあるかと思いますが、私が普段関わっている国保の運営協議会でも、データを見てみると、高齢化そのものを悲観的に捉えるのではなく、前向きにどう活かしていくかが重要だと感じております。人口減少というテーマも、暗い話になりがちですが、町の魅力をしっかりと伝えていくことで、人を引き寄せることができるはずです。ですので、本日も前向きな視点で、活発に議論を進めていければと思っております。本日の議題を踏まえ、今後の町の計画について意見交換を行い、最終的な取りまとめを進めてまいります。限られた時間ではありますが、どうぞよろしくお願いいたします。

(協議事項)

会 長 協議事項2の(1)第3期白川町まち・ひと・しごと創生総合戦略(案)について、(2)第3期白川町まち・ひと・しごと創生総合戦略の意見についてを一括協議いたします。事務局説明を求めます。

事 務 局 まず、お手元に配布された資料をご確認ください。資料は、白川町まち・ひと・しごと創生総合戦略の素案となっています。この総合戦略は第3期を対象としており、概要版とアクションプランがセットになっていますので、そちらをご覧くださいながら説明を進めます。

今回の総合戦略のポイントとしては、以下の3点を挙げています。第一に、子育て世代と若者をターゲットにしたアプローチが盛り込まれています。第二に、地域公共交通、情報発信、デジタル技術を共通の視点として政策に組み込みました。第三に、町民アンケートを基に「暮らしやすさ」や「充足度」を目標として設定しました。

続いて、町の人口動態についてですが、少子高齢化が進んでおり、特に若年層や子育て世代の転出が課題となっています。アンケート結果からも、結婚や子育てをしやすい環境整備が重要であることが浮き彫りになっています。

次に、昨年の町民アンケート結果を見てみましょう。1935名の町民から回答をいただき、その中で公共交通や移動手段、買い物、飲食、娯楽などに対する不満が明らかになりました。特に、公共交通の利用状況に関し

ては、もっと便利で利用しやすい環境づくりが求められています。また、グループインタビューを通じて、町内での娯楽施設や教育環境についても意見をいただきました。遊べる場所や子どもたちの教育環境についてのニーズが高いことがわかり、これらを改善するための施策が必要です。

最後に、総合戦略の進め方として、地域資源の活用や産業振興、子育て支援、ワークライフバランスの推進を掲げています。これらの施策を通じて、町民の満足度を向上させ、持続可能なまちづくりを進めていきます。

次に、委員の皆様からいただいたご意見に対する町からの回答について説明いたします。観光振興に関する意見について リトリート観光という新しい概念についてご質問がありましたが、これは昨年の産官学連携の事業で提案されたもので、町の強みである自然を活かし、特に若者向けにリフレッシュを促す体験型の観光を進めるものです。これまでのグリーンツーリズムも都市部の若者や子育て世代をターゲットにしてきましたが、今後は若者向けの観光活動をさらに推進する方向で進めていきます。そのため、観光振興の文章を一部修正し、グリーンツーリズムに加えて白川町ならではの魅力を体験できる観光を進めていくと記載しました。

地域メディアによる情報発信について 地域メディアとしては、町が運営している「ヤゴーシラカワ」の取り組みを強力に推進していきます。インタビューでも、情報が届かないことが問題視されていたため、情報発信は政策推進の上で欠かせない取り組みです。ステークホルダーについては、地域内の企業や団体に影響を与える存在として、商工会や観光協会、サポートセンターなどが関わり、推進体制を整えます。

KPI（重要業績評価指標）の設定について 観光振興における KPI として、関係人口の増加を指標とし、4月から「超会社カード」を発行します。このカードを持っているかどうかで、地域の購買行動や活動データを分析し、そのデータを活用して進捗を測定します。

事業予算と判断について 総合戦略において、具体的な事業や予算はまだ確定していない部分もありますが、毎年度評価を行いながら実行計画を立てて進めていきます。総合戦略自体は町の将来像を定める方針であり、詳細な事業については年度ごとに検討し進めていきます。

林業振興について 山林への進入路確保や木材搬出方法の研究に関してのご意見がありましたが、林業の振興にはインフラの整備が必要であると認識しています。これについては第6次総合計画に基づき、林道の整備などを引き続き進めていきます。

いただいた意見に対する町の考え方と今後の方針についての説明となり

ます。以上が、今回の総合戦略に関する説明の概要です。

会 長 それでは、第3期総合戦略の草案について概要を説明し、事前にいただいたご意見をご紹介します。本件についてご発言があればお願いいたします。

佐 伯 委 員 皆さんがしっかりと読み解く時間も必要かと思います。今回の総合戦略は重点を絞っており、非常に良い方向性だと感じています。広範なテーマを扱うと浅くなりがちで、結果的に効果が薄れる可能性があります。そのため、今回のように重点を明確にするのは理解しやすいと思います。

一方で、事前のアンケートにもあったように、KPIは設定されていますが、それに紐づく具体的な事業の提示が不足しているように感じます。町としてどの事業に予算を充て、それがどのようにKPI達成に結びつくのかが示されないと、理解が難しいのではないのでしょうか。

現在、予算は議会を通過していない段階ですが、それでも「この事業にこの予算を計上し、このように取り組む」といった情報が提示されれば、よりKPIとの関連性が明確になると思います。その点について情報提供があると助かります。また、具体的なKPIに関しても、概要版の裏面に記載があるようですが、改めて整理して説明いただけると良いかと思います。

事 務 局 ご質問ありがとうございます。総合戦略については、あるべき姿に向かうための方向性を定めたものです。ご指摘のように、具体的な事業の進め方については、巻末に総合計画の事業と関連した項目を提示する予定です。詳細なアクションプランについては毎年度更新されるため、今回の総合戦略には含まれておりませんが、事業の項目としては明示する方向で考えています。以上です。

佐 伯 委 員 KPIの具体性や測定方法について、いくつかお聞きしたいと思います。

1点目「白川の宝物を仕事に変える」KPIについて新規就農者の数だけでなく、既存の観光業に関する来町者数もKPIとして測定するべきではないのでしょうか？また、現在どの程度の白川町目的の来訪者がいるのかを把握したうえで、新たな施策を考える必要があると思います。事業者や観光協会と連携し、来町者数を適切に測定する方法を検討すべき。

2点目「しらかわであんきに育てる」KPIについて『小学4年生の児童数』が設定されていますが、なぜこの指標が選ばれたのでしょうか？人口増加が難しい状況の中で、適切な指標なのか疑問です。

3点目「公共交通の利用者数」KPIについて年間の利用者数だけでなく、年代別・時間帯別・地域別のデータも取得したほうが、より実態を把握できるのではないのでしょうか？そうすることで、より効果的な施策が打ち出

せるはずです。

4点目「しらかわ人育み しらかわ未来に伝える」KPIについて子どもたちが地域貢献を実感できるような指標を盛り込むことも重要ではないでしょうか。例えば、地域の祭りへの参加や、学校教育における総合学習の取り組みを評価する指標を検討すべきかと思います。

5点目「移住のターゲット」KPIについて若者をターゲットにすることですが、具体的にどのような誘致策を考えているのでしょうか？また、高齢者の移住を排除するわけではなく、バランスを考慮することも必要かと思います。

6点目「しらかわ」観光振興 KPI について町外者の数のみを KPI として設定するのは適切でしょうか？観光振興の多様な側面を考慮し、もう少し幅広い指標を取り入れることを検討してはいかがでしょうか。

事務局 1点目「白川の宝物を仕事に変える」について既存の取り組みについては総合計画の中で評価し、新規施策に関しては、商品・サービス開発数を KPI として設定しています。特に6次産業化の推進を重視しており、その成果を見ていきたいと考えています。

2点目「しらかわであんきに育てる」についてこのKPIの目的は、子育て世代の流出を防ぐことにあります。小学4年生を指標にした理由は、小学校統合の際の学年を基準にしているためです。

3点目「公共交通の利用者数」について年代別・地域別のデータ取得については、今後の検討課題としています。また、利用促進のためにツアーや広報活動を強化する方針です。

4点目「しらかわ人育み しらかわ未来に伝える」についてまずは、子どもたちに地域の良さを認識してもらうことが重要です。そのため、地域課題の発見や解決をテーマにした探究型教育を推進していきます。

5点目「移住のターゲット」について行政として移住者を特定の層に限定することは難しいですが、推進体制を整え、ターゲットに応じた誘致を進めていきます。特に、中学生以下の子育て世帯の移住促進を重要視しています。

6点目「しらかわ」観光振興について観光客数の KPI については、既存の指標で管理しています。また、町外者とのつながりを深め、ファンクラブ的な関与を増やすことを今後の施策の一環として検討しています。

会長 KPI の詳細な議論を全体会議の場で行うのは適切ではないため、修正が必要な点を整理し、改めて議論を進める必要があります。今回の説明を受け、KPI の見直しが必要な部分について、引き続き検討を進めていきまし

よう。

佐伯委員 説明ありがとうございました。KPI 設定については理解しましたが、行政として取得可能なデータは、できる限り詳細に収集すべきだと思います。例えば、若者を対象とした施策で総数が増えたとしても、実際に若者が利用しているかが不明では意味がありません。KPI が達成されたとしても、その施策が適切であったかを検証するためのデータが必要です。したがって、KPI には納得しますが、次の段階へ進む際には、データに基づいた根拠が明確になるような仕組みを構築していただきたいと考えます。また、観光者数についても、関係事業者と連携しながら計画に反映できる体制を整えていただきたいと思います。

会長 全体のプランニングの中では、公共交通、情報発信、デジタル技術の活用といった点で、エビデンスベースのポリシーミーティングが求められます。したがって、データの収集にはしっかり取り組んでください。この点は担当課ごとに決まってくるので、会議だけでなく、日常的なコミュニケーションの中で議論を深めていくことが重要です。4 年間を通じて柔軟に調整しながら進めていくものと考えます。

塩月委員 私が関わる部分で気になった点がありました。今回の草案では具体的な内容が十分に記載されておらず、政策のイメージがつかないまま会議に臨むことになりました。

まず、41 ページの学校教育の施策についてですが、地域の活躍人材や自然、産業、伝統文化に触れる体験学習の推進は、すでに地域学校協働活動として実施されていると思います。しかし、文章の表現が「これから環境を整備する」というように読めてしまいます。実際には、既存の活動をさらに推進する形であることが明確になるように表現を修正していただきたいです。また、政策ごとにヒアリングを実施し、より具体的な記述にすることで、関係団体が自分たちの役割を明確に認識できるようにしていただきたいと考えます。

次に、KPI についてですが、目指す方向性がやや曖昧に感じられます。KPI は目標を明確にするためのものですが、現在の設定では目標達成の具体的なイメージが持ちにくいです。可能であれば、今後ヒアリングを実施し、KPI の妥当性を検証していただきたいと思います。

さらに、45 ページの観光振興についてですが、リトリート観光の推進に関して、現時点で該当する加盟店や宿泊施設が十分に存在していないのが実情です。KPI を設定する前に、まず加盟店を増やす取り組みが必要だと考えます。また、リトリート観光の KPI として、単純に滞在者数を指標

とすることで、目標が明確になりやすいと思います。

また、直前に追加された推進体制についてですが、記述があることで全体像は把握しやすくなりました。ただし、関係団体へのヒアリングが行われていなかったようなので、今後、関係団体の意見を反映させる機会を設けると、より実効性のある総合戦略になると考えます。

事務局 ご指摘ありがとうございます。まず、KPI の具体性についてですが、最終目標は住民の満足度の向上と設定しています。そのため、各政策ごとにアウトプットとしての KPI を設定し、最終的に町民の満足度向上につなげる形を取っています。

具体的な事業内容については、総合戦略は方向性を定めるものであり、具体的な施策はアクションプランに落とし込んでいきます。アクションプランは年度ごとに評価・修正を行う形で進めていくため、現段階では方向性の妥当性について審議をお願いしたいと考えます。

学校教育については、ご指摘のとおり、地域学校協働活動をさらに推進する形で表現を修正します。これまでの取り組みを基盤とし、高校生や若者の活躍、地域課題解決へと展開していく戦略です。

また、Shiraca の加盟促進についてですが、観光政策の KPI を考える際には、単なる訪問者数だけでなく、経済効果も重視する必要があります。そのため、Shiraca を活用したデータ収集を推進し、観光施策を進めていく方針です。

今後、データの取得方法を明確にし、KPI の検証や修正を行いながら、より具体的な戦略を策定していきます。

会長 ただいまのご説明によると、41 ページの部分は文章が並ぶ形になるということですね。この後、パブリックコメント（パブコメ）が入ると思いますが、どのタイミングで、どのように修正が行われるのでしょうか。

事務局 この後、資料 4 でパブコメについて説明します。その際に全体のスケジュールもお知らせいたします。今回いただいたご意見を参考に修正を行い、その後パブコメを実施します。パブコメで寄せられた意見を反映した修正案を皆様に書面でお送りし、最終確認をお願いする予定です。したがって、今回いただいた意見の修正内容はパブコメ時に提示できるかと思っています。

会長 つまり、パブコメにかかる前に修正が行われるということですね。パブコメでの意見募集後に再修正するのではなく、今回の修正をもって進めるという理解でよろしいですか。

事務局 今回いただいた意見をすぐに修正し、その内容でパブコメを実施します。

塩 月 委 員 具体的には、45 ページの観光に関する部分についてですが、「リトリート観光」を推進するのであれば、それに関連する KPI も設定すべきではないかと考えます。

事 務 局 滞在者数を KPI として追加するよう修正いたします。

佐 伯 委 員 KPI の修正については慎重に考える必要があると思います。観光政策の目的は、関係人口の創出ではなく、訪問者を増やし、経済効果を高めることです。そのため、滞在者数を KPI に加えると、観光政策の趣旨とは異なる要素が混在してしまいます。したがって、定量的に測定可能な指標として、「Shiraca のカード発行者数」を KPI とすることを提案します。

会 長 本来であれば、議論を重ねて一つ一つ決定するのが理想ですが、今回は会議の回数が限られています。原案の大幅な修正を行うと議論が長引き、收拾がつかなくなる可能性があります。事務局としては、現時点での原案を基本とし、今後必要に応じて KPI を追加する形で進めるのがよいと考えます。一度設定した KPI を途中で削除するのではなく、必要な指標を追加する形で対応するのが適切かと思います。本日はこの原案で進めることを提案しますが、いかがでしょうか。

佐 伯 委 員 KPI 自体はこのままで問題ありません。ただし、この KPI の説得力を高めるために、リトリート観光の影響について調査を行い、その結果が KPI とどのように関連するのかを示してほしいと考えています。

会 長 単に KPI を設定するだけでなく、その数値がどのような背景で導き出されたのかを明確にすることが重要です。また、パブコメ前の修正については、委員の承認を得るべき部分もありますが、スケジュールの都合上、塩月委員と調整のうえ進めていただければと思います。

今回の総合戦略は、町のすべての政策を網羅するものではなく、特に「人口の維持」と「賑わいの創出」に焦点を当てた企画的な内容です。その趣旨を踏まえ、KPI についても不足があれば追加で検討しつつ、現時点ではこの内容で進めるのが妥当かと考えます。

本日、ご意見がなければ、この形でご同意いただきたいと思います、いかがでしょうか。

問題がなければ、この方針でパブリックコメントの手続きを進める準備を進めたいと思います。それでは、事務局よりパブコメの手続きについてご説明をお願いします。

事 務 局 次第の資料 4 をご覧ください。まち・ひと・しごと総合戦略のパブリックコメント手続きについて説明します。

今回、41 ページの文言を「さらに推進する」という表現に修正しまし

た。この修正を含めた総合戦略の原案について、3月10日から意見を提出できる期間を設け、3月24日までをパブリックコメントの手続き期間とします。

公表方法については、町のウェブサイトにはパブリックコメントのページを掲載します。パブリックコメントで寄せられた意見については事務局で内容を確認し、必要な修正を行います。修正が必要な場合、最終版を郵送にて委員の皆様にお送りし、承認を得た上で4月から総合戦略を進めていく予定です。

会 長 パブリックコメントでは厳しい指摘が入る可能性がありますが、軽微な修正であれば文書でご案内する形をとります。今回の修正内容を含めてパブリックコメントへ進めることでご了承いただきましたので、その方向で進めます。

佐 伯 委 員 今回の資料は見やすくなりましたが、以前配布された資料は表の文字が不鮮明で読みにくかったです。特に重要な表の部分については、より鮮明な資料を用意してほしいです。

事 務 局 印刷の問題でぼやけた箇所がありましたので、次回配布する資料は鮮明なものを準備します。

細 江 委 員 移住支援についてですが、白川町では移住者に対する支援金は出ていますか。

事 務 局 岐阜県の補助金を活用し、支援金を提供しています。また、東京圏から白川町へ移住した方にも補助金を活用して支援を行っています。

後 藤 委 員 今回の資料作成では、実際に現地で聞き取り調査を行い、丁寧に作成されたことを評価します。役場では町外から通勤する職員が多いと聞いていますが、町民の定住者が増えるような取り組みも進めていただきたいと思います。

会 長 多くのご意見と激励をいただきましたので、これにて議事を終了します。

副 会 長 本日はお忙しい中、会議にご参加いただきありがとうございました。第6次総合計画の第3期総合戦略について、方向性は皆様にご理解いただいたと認識しております。次のステップとしてパブリックコメントに進みますので、引き続きご協力をお願いいたします。

(終了 11:45)